

◆ 編集後記 ◆

今年度も紀要「福祉社会開発研究」（第16号）をお届けいたします。

東洋大学福祉社会開発研究センターは、2019年10月から第4期目を迎え、これまでの研究実績を踏まえながら、「つながりがある社会を支える価値と支援システムに関する研究」をテーマに社会的に孤立する人々へのICTを活用した持続可能な包括支援システムの構築に関する研究を文理融合体制で開始し、新ユニット間で研究方法・研究内容等の評価と課題を検証し合い、新たな研究課題を取り上げプロジェクトに取り組んできました。現在は「福祉社会における新たな価値の創発と支援システムの構築」というテーマのもと研究を進めております。

今年度は、各研究ユニット・グループ、精力的に研究に取り組んでまいりました。本紀要に収録されている論文もそうした研究成果の一環です。そして、例年どおり、こうして研究紀要をお届けすることができませんでした。

皆さまには是非ご一読いただき、忌憚のないご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、本研究センターの研究活動にご協力いただいた多くの方々に、心より感謝申し上げますと共に、今後とも、一層のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

なお、本誌はISSN（2189-910X）に登録しておりますことを申し添えます。

2024年3月

理論研究ユニット

—歴史・原論グループ	稲沢 公一
—政策論グループ	伊奈川 秀和
—対象論グループ	佐藤 亜樹

実践研究ユニット

—高齢グループ	古川 和稔
—障がいグループ	高山 直樹
—子どもグループ	内田 千春
—地域福祉グループ	加山 弾
—地域包括ケアグループ	藤林 慶子
開発研究ユニット	窪田 佳寛